

令和5年2月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

令和5年2月2日（木） 午前9時30分

2 出席委員

新 倉 聡 教育長
荒 川 由美子 委員（教育長職務代理者）
澤 田 真 弓 委員
川 邊 幹 男 委員
元 木 誠 委員

3 出席説明員

教育総務部長	古 谷 久 乃
教育総務部総務課長	杉 本 道 也
教育総務部教育政策課長	飯 田 達 也
教育総務部生涯学習課長	柿 原 美 奈
教育総務部教職員課長	平 石 拓
教育総務部学校管理課長	二 見 裕
学校教育部長	米 持 正 伸
学校教育部教育指導課長	川 上 誠
学校教育部支援教育課長	小 谷 亜 弓
学校教育部保健体育課長	鈴 木 史 洋
学校教育部学校食育課長	山 田 智 子
学校教育部教育情報担当課長	矢 本 步
中央図書館長	山 口 正 樹
博物館運営課長	柳 井 栄 美
教育研究所長	阿 部 優 子

4 傍聴人 0名

5 議題及び議事の概要

- 教育長 開会を宣言
- 教育長 本日の会議録署名人に元木委員を指名した。

○ 教育長 日程第1 議案第1号から日程第3 議案第3号については、今後市長が議会に提案する案件であるため、秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

○ 教育長報告

(新倉教育長)

それではまず、1月定例会から本日までの間の所管事項について報告をさせていただきます。

お手元の教育長報告資料をご覧くださいと思います。

先月1月19日の教育委員会定例会の終了後、委員視察を行っていただきました。第75回児童生徒造形作品展が横須賀美術館で開催されておりましたので、これらにつきまして委員の皆さんにご視察をいただきました。

次に、1月31日になりますけれども、学校教育賞というのを教育委員会内部で定めております。これは教職員の方々につきまして、様々な研究ですとか効果を発表していただくという形で行っていただきました。

今回、長沢中学校の藤井亮平先生が、この4年間、単元ごとに学習意欲を育てると、履修事項をつなげていく、総合的・発展的に考えるという3つの項目を常に意識した上で授業単元を進めていくことを、4年間ほど続けてきたことについての研究発表をいただき、審査の結果、努力賞という形で表彰をさせていただいたところです。

学校教育関係の行事につきましては、今申し上げた児童生徒造形作品展が横須賀美術館で開催をされたところです。

1月21日にはこども科学賞、こども発明展が3年ぶりに開催されまして、それぞれの入賞者に対しまして表彰式を開催させていただきました。

また、昨日2月1日には横須賀市学校保健大会が開催されまして、学校保健特別功労者として川邊委員が表彰されたということで、おめでとうございます。

また、健康に関する実践研究が3校から上げられてきて、大変興味深いものがありましたので、またこれのご報告がされるかと思っております。

(質問なし)

○ 教育長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項(1)『令和5年度指導の目標・指導の重点について』

(教育政策課長)

教育政策課から、令和5年度指導の目標・指導の重点についてご報告させていただきます。

初めに、資料の1、趣旨をご説明いたします。

本日ご報告する指導の目標・指導の重点は、横須賀市教育振興基本計画の方針に基づいて設定するもので、指導の目標は、各学校と教職員に対して本市の目指す方向性を示し、子どもたちの指導に生かすもので、指導の重点につきましては、指導の目標を踏まえて、本市の子どもたちにとって優先的に取り組むべき課題として、各学校と教育委員会が一体となって取り組む内容として示しているものでございます。

この指導の目標と指導の重点の設定に当たりましては、昨年度は教育振興基本計画の策定に合わせて、横須賀の教育の目指す姿及び本市における学校教育の現状や課題等を踏まえながら、教育委員会事務局各課の指導主事により構成する指導の目標と重点検討会議及び合同指導主事会議におきまして検討や協議を重ね、大きくその内容の見直しを図りました。

そのため、令和5年度の指導の目標・指導の重点につきましては、基本的に令和4年度のものから内容の変更は行わないことと考えていますが、今年度の取り組みの中で一部の記述について表現のみ修正させていただき、学校や教職員がイメージしやすくなるようにしていきたいと考えております。

それでは、まず指導の目標の変更点についてご説明いたしますので、資料の1をご覧ください。A3判になりますので、広げて見ていただくと助かります。

今回修正させていただいた部分につきましては、このA3の資料の右側、目標4ですね。多様な教育的ニーズを踏まえた適切な支援を行いますというところの(1)に、朱書きで記載している箇所になります。

目標4の(1)につきましては、学びのユニバーサルデザインの考え方を考慮した授業改善という部分につきましては、各学校において取り組むべき視点がより明確となり、具体的な方策がイメージしやすくなるよう、学ぶ楽しさを味わえるよ

うな授業づくりに努めるという表記を加えることといたしました。この指導の目標の変更点は以上で、1か所になります。

続いて、指導の重点の変更点についてご説明いたしますので、恐縮ですが資料の2のほうをご覧ください。

指導の重点の関連を表す図の真ん中からやや上の部分におきまして、それぞれの重点といたしまして、重点1から重点3、ここに対しまして、令和4年度版では目指す子どもの姿、子どもに身に着けさせたい力として表記しておりましたが、この部分につきましては、各重点の達成に向けて目指すこと及びその際に取り組むべき手だて等について、図に示している内容やその関係性がより一層明確に伝わるよう、「子どもに身に着けさせたい資質・能力等」と表記を改めることといたしました。指導の重点の変更点は以上の1か所になります。

続いて、資料の3をご覧ください。

こちらA3判の資料になって申し訳ないんですけど、お開きいただければと思います。

この資料の3は、各学校に配付する予定のポスターでございます。教育振興基本計画における横須賀市、横須賀の教育の目指す姿と、指導の目標と重点の内容、そしてそのつながりが見えるようなつくりとしています。各学校に2枚ずつ配付し、校長室や職員室で職員が見やすい場所に掲示するなどの方法で活用していきたいと考えています。

大変恐縮です、資料のほうお戻りいただきまして、一番元の資料のほうにお戻りください。

3の周知の方法のところになります。

令和5年度指導の目標・指導の重点につきましては、教職員へ配付予定の指導の必携に掲載するとともに、学校や教職員への理解を図るために、校長会や各種研修会等で説明してまいりたいと考えております。

最後に、4、取り組みへの支援をご覧ください。

指導の重点についての取り組みの支援として、各学校が作成する学校重点プランへの指導・助言や、指導主事の学校訪問等における学校経営や教育課程に関する指導・助言、さらには学力・学習状況調査等の結果など、学校ごとの分析を行い、要因や方向性を示し、各学校における取り組みに活用できるようにしてまいりたいと考えております。

以上で、令和5年度指導の目標・指導の重点について報告を終わります。

(澤田委員)

目標4の(1)の「学びのユニバーサルデザイン」のところですが、より分かりやすい表現に変更したとのこと、この学びのユニバーサルデザインが意味す

るところは何なのかについては、研究会や学校訪問等でより具体的にご説明やご助言をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(教育政策課長)

今回、この学びのユニバーサルデザインにつきましては、確かに分かりやすいようで分かりにくい言葉というところもあろうかと思imasので、しっかりとこの辺は、いろいろな場面を通じてご説明をしていきたいと思imas。

なお、やはり今回この改正に至った経緯なのですけれども、現場の校長先生のほうからも少し分かりづらいというちょっとお話もありましたので、そういった意見を聞きながらやっていますので、そこを踏まえながらやっていきたいと思imas。

(支援教育課長)

このところについては、支援教育課のほうで中心に取り組んでいるところですが、やはり学びのユニバーサルデザインということと、授業のユニバーサルデザインの違いも学校に周知をしていき、学びのユニバーサルデザインといったときには、まずは環境づくりから、それから子どもたちの学級等の人間関係づくりも踏まえた授業づくりというところに取り組んでいかなければいけないところですので、そういうことを大切に、この後また進めていきたいと思imasので、支援教育課のほうでも学校訪問等をしながら研修会でも周知をしていきたいと思っております。

(澤田委員)

ありがとうございます。「学びのユニバーサルデザイン」と「授業のユニバーサルデザイン」の考え方、このあたりをしっかりと先生方に理解していただかなければいけない部分だと思imasので、どうぞよろしく願いしたいと思imas。

(元木委員)

今年度において、この指導の目標・指導の重点が大きく刷新されましたが、そのことにつきまして、現場からどのように教育に対するのが変わったかといったご意見があれば教えていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(教育政策課長)

すみません、今そこについて、こちらのほうにお答えできる部分がありませんので、ちょっと取りまとめさせていただきたいと思imas。

(学校教育部長)

昨年度教育振興基本計画を検討していったその前の取り組みとしては、学習指導要領の大きな改訂がございました。この学習指導要領の趣旨を実践するために、教育振興基本計画の中にもその取り組みが散りばめられているところです。

それで取り組み始めて1年間ということなので、それほど大きな変化とかそれから成果というものはまだまだだと思っておりますけれども、ただ、学校の先生方はかなり授業改善、ただ教え込むだけではなくて、子どもたちに考えさせて表出させて、そしてまた次の学びに意欲を出せるという、そういう授業をつくっていこうという意欲は、かなり小学校、中学校でも先生方の口からそういった言葉が出てくるようになったということは、大きな変化だったと思っております。

(元木委員)

非常に良い経験だと思っておりますので、引き続き取り組んでいただければと思います。

それからもう1点よろしいでしょうか。先ほどの資料3のポスターですね、校長室や職員室などに掲示するというお話だったんですが、ぜひこのポスターの左側にある横須賀の目指す教育の姿の、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好きと誇れる人づくり」につきましては、児童・生徒さんにも浸透してほしいと思いますので、生徒さんの目が触れるようなところにもこの姿が目につく形で掲示などしていただければと思います。よろしくお願ひします。

(学校教育部長)

こういったことを浸透できるように、しっかり周知をしていくつもりでございます。貼っていただくということだけでなく、これは委員の皆様にもお配りしているこの指導の必携にも掲載されています。かつ、指導主事はこれを持ちながら学校を回り、校長先生やそれから教科を担っている先生方と授業に当たる中で、ここに書かれていることを振り返りながら、また使っていくという、そういったことの繰り返しで周知をどんどん高めていきたいというふうに思っております。

(新倉教育長)

ごめんなさい、ちょっと質問の趣旨が違ったので。先生方ではなく、各学校で子どもたちがこのフレーズをよく分かるようにしたらいいかなという質問だったと思っております。

(学校教育部長)

そういった取り組みの中で、先生方が子どもたちにもこの話をしていくことになると思います。これは教員向けに書かれているので、このままずばりということではなく、子どもを育てていく中で「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」というような、このフレーズについては全部周知化することになると思うんですけども、その中身・意味をだんだん理解してもらえるようにしていくといった取り組みを進めていきたいと思っております。

(荒川委員)

私は質問ではなくて意見なのですがすけれども、今年度の、昨年度と同じとは言いながら、学校現場の意見を聞いてこのように表現を変えたり工夫したりということは、とても良いことだと思いますので、やはり前年度と同じとは言いながらも、やはり学校のそういう意見を取り入れながら微調整といいますか、よりよい改善を今後もしていただけたらありがたいなというふうに思います。

報告事項(2)『市立学校における新型コロナウイルス感染症の罹患状況について』

(保健体育課長)

市立学校における新型コロナウイルス感染症の罹患状況についてご報告いたします。

資料をご覧ください。

前回の定例会が行われた1月の第3週以降、児童・生徒と教職員を合わせた1日当たりの罹患者数の総数は、200人台半ばあたりを推移し、今週に入ってから100人台になりました。12月中旬頃の300人台をピークに、過去2か年において見られたような年末年始の罹患者数の急増が見られないまま、現在は減少に転じているように見受けられます。

一方、1月中旬頃から、季節性インフルエンザ罹患によって出席停止となる児童・生徒が増えてきました。学級閉鎖等の臨時休業措置についても、前回の定例会以降昨日までの期間において、新型コロナウイルス感染症による措置は8校でしたが、季節性インフルエンザによるものは10校と、季節性インフルエンザによる学級措置等のほうが数が多くなっています。

このところ日中の気温が低い日もあるため、教室等の換気、またこまめな手洗いなどの基本的な感染対策が疎かになってしまうことが懸念されます。各学校

に対しては必要に応じて注意喚起を行うなど、引き続き連携して取り組んでまいります。

報告は以上です。

(質問なし)

(理事者報告なし)

(委員質問なし)

日程第1 議案第1号から日程第3 議案第3号については、市長が議会に提案する案件のため、秘密会とすることを宣言。関係理事者以外の退席を求めた。

6 閉会及び散会の時刻

令和5年2月2日(木) 午前10時50分

横須賀市教育委員会

教育長 新 倉 聡